

令和4年度 下田市総合計画外部評価一覧（対象年度:令和3年度）

	分野2	子育て・教育	分野3	観光・産業・雇用・移住促進	分野4	都市基盤整備	分野5	危機管理
委員	評価	理由・コメント	評価	理由・コメント	評価	理由・コメント	評価	理由・コメント
委員1	B	「目標値の達成状況」からみると適正とは認識できないが、各施策の主な取組内容の内部評価から判断した。	B	各施策の主な取組内容の内部評価から判断した。コロナ禍での影響は、どのように評価するか疑問である。	B	各施策の主な取組内容の内部評価から判断した。	B	各施策の主な取組内容の内部評価から判断した。
委員2	B	市内小中学校の少子化に対する幅広い視野からの対応を図りたい。 ・小学校は複式が生じたときには再編を検討することになっていたのでは。 ・下田保育所の存続についてはどのように考えているのか。 ・今後の方向として、市内小・中学校のコミュニティスクールについて教育委員会の考えは。	B	市内の活性化や景観の改善が感じられない ・大川端の賑わい創出等、継続的な取り組みが見られない。 ・歴史的建造物保全への取り組みが感じられない。（ペリーロード全体・安直楼・ひもの横丁等） ・国の「歴史的風致計画」認定を受けた取り組みが具体的に見られない。	A	・伊豆縦貫道や港・横枕線の道路整備の動きが目に見える。 ・駅前整備・庁舎跡地の活用について市内活性化につながる取り組みを期待します。	B	・自主防災組織に女性の参加がないように感じる。女性の視点から災害に対応できるようにするため、防災組織への女性の参加を働きかけてほしい。
委員3	—	※A,B,Cによる評価は困難。	—	※A,B,Cによる評価は困難。	—	※A,B,Cによる評価は困難。	—	※A,B,Cによる評価は困難。
委員4	B	重点事業で見ると、放課後児童クラブの拡充や中学校の再編、新中学校開校に向けての事業が適正に執行されている。情報拠点・交流拠点機能を備えた新たな図書館の検討については情報が見えてこない。市民文化会館の改修については、施設の安全面を考慮し、小ホール等使いやすいうように改修していただきたい。	A	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、大都市の緊急事態宣言発令から全国に広がり、直接的な誘客事業の実施は非常に厳しかったが、おもてなし人材育成の実施、移住促進に向けた事業やワーケーション事業の整備は目に見えて執行されている。	B	重点事業で見ると、道路美装化を旧町内に広げ、歴史的風致形成構造の目に見える修繕をして、にぎわいの創出に寄与する回遊性の向上をもつと図りたい。 また、みなとまちゾーンの活性化の取り組みとして、みなとオアシスに認定されたことは評価に値する。その後の動きを期待します。 公共交通事業について、中学校統合における路線ダイヤの調整や、ICカード設備にかかる支援を実施、マイマイ通りを通る路線の整備等評価できる。	A	重点事業で見ると、危機管理体制の強化としては、同報系防災無線のデジタル化や、避難場所の整備及び誘導看板の整備が執行されていると感じる。 市民に対する防災意識の向上として、広報しもだに防災かわら版を毎月掲載しているので、是非続けてください。
委員5	A	内部評価でもE評価になっている取組については、今後どのように進めていくのか、担当課を決めるなどの努力が必要であると考え。 また、世代にあった情報発信としてSNSやアプリの活用を見直していただきたい。	A	ワーケーションや移住者促進については概ね計画どおり進められているが、農林水産資源を活用した取り組みや担い手の確保については、進め方を再検討した方が良いと感じる。	B	内部評価でも順調に目標達成に向かっていている項目が1つもなく、下田市民にとって利便性の高い公共交通体系の構築は期待されていることである。観光者に対してだけでなく、移動困難者目線での取組を再検討していただきたい。	B	被災後の住民の生活を復旧・復興していくためには災害ボランティアとの連携が欠かせません。防災としては事前の意識向上は欠かせませんが、被災後の復旧・復興方法についても検討しておくことが重要だと考えます。大規模災害になるといかに早く支援の必要性を外に発信するかがその後の援助につながるため、体制を強化することが求められます。
委員6	A	子育て支援センターの相談体制の強化がDというのが気になりました。コロナ禍で支援センターに行く機会が減っているのが気軽に相談できる場があまりないと思います。別の方法で何か気軽に相談できるよう考えてほしいと思いました。	A	ワーケーションの分野は、目標値を大きく上回っているので良いと思いますが、テレワークが減少している中、さらに利用者を増やしていく方法を考える必要があると思います。 雇用に関しては評価が低い所が多いので、若い人の雇用を増やす支援を強化して欲しいと思います。	A	順調に目標達成に向かっていているが0ですが、改善が必要であるが1なので、概ね適正と判定しました。	A	総合評価で△の改善が必要が2つあるが、どの部分が改善が必要かわからない。

評価

A	概ね適正である	目的や手法が適切に設定され、事業が適正に執行されている。
B	一部見直しが必要な部分がある	課題があり、事業の一部見直しが必要だと考える。
C	適正とは言えない	